

令和5年度 第2回 長浜市下水道事業審議会 会議録

日時:令和5年9月22日(金) 午前10時00分から午前11時30分まで

会場:長浜市役所 5階 5A会議室

出席者:委員8名

横山幸司会長、山田昌宏副会長、中井宣夫委員、國友良行委員、前田喜代次委員、
筑田利美委員、服部貴美代委員、瀧本登茂子委員

事務局

嶋田都市建設部長、服部下水道事業局長、今荘都市建設部管理監

下水道総務課

長谷川課長代理、横田係長、林田主幹

下水道施設課

浅井課長代理、西尾課長代理、藤田主幹

北部建設局 北部建設課

岩崎課長代理、浅見主幹

進行:服部下水道事業局長

1. 開会(省略)

2. 部長あいさつ(省略)

3. 議事

(1)第2次長浜市下水道ビジョンについて

事務局から「第2次長浜市下水道ビジョンについて」に基づき説明

説明の後、次のような質疑や意見がありました。

委員	今後は人件費や物価の高騰等による維持管理経費の増加が見込まれる反面、利用者の減少により使用料収入は減少することが見込まれる。とはいえ、コスト高を即使用料へ転嫁するのも難しく、一定の財政支出を覚悟する必要があると思われるので、その辺りを財政計画で示してはどうか。
事務局	農業集落排水の公共下水道への接続等により維持管理費の縮減に努めていくため、今すぐ料金改定を検討する状況にはないと考えている。もともと、今後の経営状況次第ではコストカットでカバーできないことも考えられるため、その場合は使用料の改定も検討させていただく。
委員	起債や補助金等を十分活用し、市の負担ができるだけ軽くなるような形をとっていただきたい。また、災害対策については、浸水対策や地震対策など必ず必要となるものであるから、できる限り検討いただきたい。
委員	BCP 訓練は市の防災訓練の際に何か行っているのか。また、訓練の実施について市民へPRしてはどうか。
事務局	総合防災訓練へ参加しているのではなく、下水道部局独自でやらせてもらっている。ご意見については今後の訓練等に生かしていきたい。
委員	災害対策に関連して、市街地の雨水整備は具体的にどのように行うのか。また、SDGsに関連して、エネルギーの削減以外に新たなエネルギーを作り出すような取組の全国事例はあるのか。

事務局	<p>浸水被害は基本的に道路の側溝や水路の断面の不足によるものであるため、その断面を大きくするのが基本的な工事になる。人家が集中しており断面を大きくするのが難しい場合はバイパスを整備したり、河川整備が暫定的な場合は一時的に水を貯める調整池を作るといった方式をとる。</p> <p>SDGsに関しては、このような取組は市単独ではなかなか難しいため、計画は今のところないが、滋賀県では下水処理場の汚泥の活用について検討いただいている旨伺っている。北部流域下水道事務所長から紹介いただけるとありがたい。</p>
委員	<p>長浜市を管轄する東北部浄化センターでは現在汚泥を焼却しているが、次期の汚泥処理方法については滋賀県の下水道審議会に諮っており、2年後に答申をもらう予定である。また、高島浄化センターではコンポスト化のための工事を進めているところで、来年度から稼働予定である。汚泥のコンポスト化は温室効果ガスの削減にも効果的であるし、産廃の量が減るという点でコスト面でも有効である。なお、国は汚泥の有効利用に関して肥料化を第一に考えるよう通知を出している。</p>

(2) 余呉・西浅井地域の流域下水道への接続について及び西浅井地域の統合について
「余呉地域の流域下水道への接続」及び「西浅井地域の統合」に基づき説明

説明の後、次のような質疑がありました。

委員	<p>余呉地域の事業のスケジュール案で令和7年度及び8年度が空欄となっているのはなぜか。また、西浅井地域の事業のスケジュール案がないがどのような予定となっているのか。</p>
事務局	<p>余呉地域については、令和7年度にまず測量設計委託を行い、工事の方は令和8年度以降、下流から進める予定である。西浅井地域については、処理場の建設年度等を考慮し、老朽化も踏まえてどういう順で接続していくのかを現在検討しているところで、概ね案としては令和10年度くらいから約10年をかけて統合を進める予定である。</p>
委員	<p>余呉地域についてはかなり具体的なスケジュールが示されているが、住民への説明等は行われるのか。</p>
事務局	<p>余呉の全体的な統合についての話は、広報による周知のほか説明会等もさせていただくことになるかと考えている。また、各工事に際しては通行止め等もあるため、各自治会等への報告や説明会等により、住民に迷惑がかからないような形で進めたい。</p>
委員	<p>農業集落排水の流域下水道への切替がコスト面で一定の削減効果を上げているというのは、何か数字で表れているものなのか。</p>
事務局	<p>汚水処理費は公共下水で94.9円/m³、農業集落排水で350.8円/m³がかかっているため、切替を進めることにより市全体で見るとコスト削減効果がある。</p> <p>また、農業集落排水処理施設の維持管理費が1施設当たり1,300万円ほどかかっているため、切替を進めることによりこれが不要になれば、その点でもコスト削減効果がある。</p>
委員	<p>余呉、西浅井には農業をやっていらっしゃる方も多いと思うが、今後農業人口が減ることで利用者の負担が大きくなることはないか。</p>
事務局	<p>料金的には公共下水も農業集落排水も統一単価でやっている。二つは別の会計ではあるが、そこは市の財布の中での調整ということになる。</p>

(3)ストックマネジメント計画の見直しについて

「長浜市ストックマネジメント計画【概要版】」に基づき説明

説明の後、次のような質疑がありました。

委員	事業費が使用料でカバーされるのか、補助金でカバーされるのかといった財政的な考え方は計画の中で示されるのか。
事務局	策定は長いスパンを見て一旦策定するが計画自体は実際は5年間の計画である。5年間に必要となる経費については計画に計上させていただき、これが国の交付金事業の対象となる。

(4)審議会の開催日程について

「長浜市下水道事業審議会開催日程」に基づき説明

4. その他

令和4年度決算に係る資料を事前送付した件について、質問等がないか確認したところ、次のような質疑がありました。

委員	財政融資資金というのは国から入ってくるお金で、これは返さなくてはならないということか。
事務局	国が貸してくれるお金のうちの一つであり、決算書の「企業債」に挙げられているものは、すべて返す必要がある。

5. 閉会